

1. 日 時 令和5年2月12日（日）午前10時～12時
2. 場 所 紅葉丘文化センター 講堂
3. 出席者 19名
4. 書 記 芝喜久子

5. 地域市民の集いの概要 【司会進行：谷本事務局長】

(1) 挨拶 志水会長

(2) 府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、谷本、椋田、山岡、筒井、久保寺、芝（7名）

紅葉丘文化センター圏域：新井、行本、福田、横山、堀尾、加藤、安田、越川、田中、横山、麦倉、高橋（8団体：12名）

（今回の自己紹介は町会紹介のテーマを事務局から伝えられて始まった、各町会の抱える問題が解った。）

(3) 府中市自治会連合会／自治会についての説明（谷本）

懇談会の時間を多く取りたいので説明は割愛、都の連合会からの情報提供「地域の底力助成金20万」「町の防災力の強化助成金30万」等

(4) 四部会の活動状況

・市民協働対策部（山岡）

市の市民協働推進会議に参画し市と協働、市民協働まつり(11月)。自治会活動賠償保険の説明と推奨。

・生活安全対策部（筒井）

この部は防災対策が主。災害を中心にトランシーバー訓練等の充実、年1回ビッグサイト研修、安心安全で暮らせる町になるため取り組んでいる。

・環境対策部（谷本）

現在増えている町の空き家対策の関係を学びながら、府中市の空き家対策協議会に参加している。年1回の視察研修（ビッグサイト）実施。

・福祉対策部（久保寺）

4つの柱 1、府中市と連携して高齢者の要援護。2、福祉に関する各種委員会に参加。3、福祉まつりの実行委員会に参画。4、年1回の視察研修（ビッグサイト）実施。

・デジタル部会（仮称）について（椋田）

4月から部会を稼働させる為に動いている。各町会のデジタル化を促進出来るように、幾つかの政策を進めることの準備をしている。たとえば・機材の貸し出し(タブレット30台揃う)・ソフトウェア等の準備・サポート体制の準備等。

(5) 懇談会

フリートーキング

- ① 年々会員減少なので何か出来ないかと話し合い、若い世帯の子供達への支援として宿題を教える教室を立ち上げた。人材は近くに外語大があるので学生アルバイトをお願いした、語学も得意なので今は中学生も教室に参加するようになった。効果はあった。
- ② 町会の防災訓練でスタンドパイプの実習・実演をした。参加者の中で町会に未加入の人が防災に興味を示し、町会に加入した事例。
- ③ スタンドパイプのボックスを公園に設置できないのか？行政にお願いしたら駄目だった。調べたら世田谷区・江東区は公園に設置している。
- ④ スタンドパイプのボックスは施錠なしで設置が基本、私道に設置は市の許可無しでよい、盗難予防に箱にシールを貼るのも効果ある、盗難もあり得るので見廻りも必要。

- ⑤ 町内のAED設置場所・消火器設置場所を会員に配布、喜ばれた。
- ⑥ 「町会に入りましょう」のチラシ・パンフレットが欲しい。
- ⑦ 自治連が必要に応じ準備するので申し込みをしてほしい。
- ⑧ タブレット等使いこなせる人がどれほどいるのか？民生委員には全員に配布された、紙ベースを無くすことが目的とは理解出来るが、戸惑っている。1～2回の研修では追いつかない。
- ⑨ 協働・協働と市は言うが、協働事業への市の姿勢に疑問がある、仕事はお願いされて来るだけでこちらの話は聞いて貰えない。

上記以外にも、役員の担い手を探す難しさ、高齢化等々、各自治会の抱えている問題は共通して話題にのぼった、前向きな話もあり参考にもなった。その中でデジタル化を進める難しさもあるようだ。市民協働対策部、自治連への宿題もあるように思う、時間いっぱい自由討議され充実した意見交換となった。

(6) 閉会 谷本事務局長

会 長		事務局長		総務部長	
-----	--	------	--	------	--